

授業科目名	ハンドリング学Ⅰ		科目コード	2302013	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	ペット美容・グルマーコース	学年	1年
担当教員	飯田 慎司				
	実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ) 実務経験内容 JKC公認トリマー教士 神戸市でトリミングサロン開業 日本はもとより、海外でのドッグショーでのハンドラーとして現在も活躍されており、実技指導はもちろん海外のトリミング事情にも詳しい。				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	15時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選択 ・ 選択必須		単位数	1単位	
使用テキスト1	書名	ハンドリング マニュアル			
	著者	森 喜夫、他			
	出版社	社団法人 ジャパンケネルクラブ			
使用テキスト2	書名				
	著者				
	出版社				
参考図書	全犬種標準書				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ( )				
<p>&lt;授業の目的・目標&gt;            ハンドリングを学ぶことで、更に犬への理解を深め、「見せる」ことの重要性身に付けることで、それらをトリミングに活かしていく</p>					
<p>&lt;授業の概要・授業方針&gt;            ドッグショーの歴史から犬の体の構造、ショー用のグルーミングの知識まで幅広く学習することで犬に関する理解を深め、リードワークなどの実践を行う事で犬との「親和」を確立することの大切さを学ぶ。</p>					
<p>&lt;成績基準・評価基準&gt;            後期に筆記試験において評価を行う。筆記試験は、前期の授業内容とテキストから出題をする。100点満点とし、80点以上「優」、70点以上「良」、60点以上「可」59点以下を「不可」とする。「不可」の者は追試験を行う。追試験でも合格点に満たなかったものは、「評価なし」とし進級認定会議時に審議を行う。</p>					
<p>&lt;使用問題集・注意事項&gt;</p>					
<p>&lt;関連科目他&gt;            犬学            グルーミング理論</p>					

グルーミング実習

授業科目名	ハンドリング学Ⅰ	
回	授業内容	備考
1	ハンドリングとドッグショーの歴史	
2	犬に関する基礎知識	
3	犬の体の構造①	
4	犬の体の構造②	
5	犬の体の構造③	
6	審査のポイント①	
7	審査のポイント②	
8	ハンドリングとは①	
9	ハンドリングとは②	
10	スタックとは①	
11	スタックのさせ方①	
12	リードのかけ方、持ち方①	
13	歩様について①	
14	歩行について①	
15	まとめ	